一般財団法人　戸田みらい基金　（第5回建設に関する教育振興に係る助成事業：助成B）

【提出期限：2024年2月28日】

＜活動報告書＞

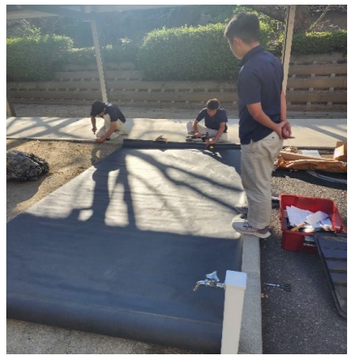
フリガナ		エヒメケンリツヨシダコウトウガッコウ
①学校名		愛媛県立吉田高等学校
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ		枯山水庭園の作庭
④活動期間		R5年5月　～　R6年12月
⑤活動内容 を記載 ※活動動画を提出する場合は記載不要です。		活動内容：庭園の作庭 目的：廃れた庭園を整備し、生き返らせる。 校内にある二つの庭園の整備を行った。片方の庭園は「動」がテーマであり、昨年・一昨年での活動で人工芝の敷設、ホワイトクローバーの植栽を行った。今年度は木製のベンチを作成し、生徒たちの憩いの場となった。 もう片方の庭園は、「静」がテーマであり、古風な日本庭園をイメージして作り上げた。まず、古い砂利を別の場所に移動させた。予算の都合上、本来使用する予定ではなかった普通の砂利を使用していたため。職員室の近くに簡易駐車場をつくり、そこに古い砂利を使用した。防草シートも張替えることにした。日本建築における枯山水や日本庭園の文化を学び、庭園の石組みや石の配置についても勉強した。庭園には石を４つ配置し、それぞれ本校の校訓を表現した。今回使用した材料は、白川砂と呼ばれる枯山水などでもよく使われる砂利である。
⑥活動説明動画 の有無		無
⑦活動費用合計 ※シート②の「2.実績額」の「①事業に要する費用」の合計がリンク		212,727　円

＜活動状況写真＞

※活動動画を提出する場合は「活動状況写真の貼付、活動内容の記載」は不要です。

【写真1】





（状況説明）
除草作業を行った後に、防草シートを敷設した。庭園内に植えられている松の木など樹木の周りは防草シートをずらして敷設した。
防草シートの敷設後、石を配置した。庭園は校舎と校舎の間に位置しているので、方位を使った配置はあまり効果的でないと判断し、石自体に意味を持たせることにした。配置した４つの石は、本校の校訓を表している。

【写真2】





（状況説明）
材料は白川砂を使用した。枯山水や日本庭園でも使用されている。写真では雨に濡れた後なので灰色のように見えるが、乾いたら白くてきれいな色になる。

【写真3】



（状況説明）
庭園が完成した時の写真。